

## プログラム

平成 23 年 2 月 5 日 (土)

12 : 40 ~ 13 : 40

開会の辞 : アトピー性皮膚炎バリア異常の新知見 戸倉 新樹

座長 : 松永 佳世子、片岡 葉子

指定演題 1 **皮膚バリア機能にとって何が重要か**

山本 明美、井川 哲子 (旭川医科大学皮膚科)

指定演題 2 **皮膚バリア研究の新展開 : タイトジャンクションバリアと  
ランゲルハンス細胞の視点から**

久保 亮治 (慶応義塾大学医学部皮膚科学)

指定演題 3 **アトピー性皮膚炎で機能的バリア異常はどのくらいみられるか**

森 智子 (産業医科大学皮膚科学)

13 : 40 ~ 14 : 40

座長 : 坪井 良治、加藤 則人

指定演題 4 **アトピー性疾患の発症因子としてのフィラグリン遺伝子変異**

秋山 真志 (名古屋大学大学院医学系研究科皮膚病態学)

指定演題 5 **フィラグリン遺伝子変異マウスの知見**

椛島 健治 (京都大学大学院医学研究科皮膚科学)

指定演題 6 **フィラグリンの代謝経路はどうなっているのか**

日比野 利彦 (株式会社資生堂 新成長領域研究開発センター)

14 : 40 ~ 15 : 00 **休憩 (世話人会)**

15 : 00 ~ 16 : 00

座長 : 水谷 仁、中村 晃一郎

指定演題 7 **フィラグリン遺伝子変異によってなぜフィラグリンが低下するか :  
C 末端領域の謎**

坂部 純一 (産業医科大学皮膚科学)

指定演題 8 **角化細胞カリクレイン発現および皮膚バリア**

森実 真 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科皮膚科学)

指定演題 9 **外因性・内因性という区分けはアトピー性皮膚炎に必要か**

戸倉 新樹 (浜松医科大学皮膚科学)

16 : 00～16 : 40

座長 : 上出 良一、幸野 健

指定及び一般演題 ～成因と治療を探る～

指定演題 1 0 バリア異常のないアトピー性皮膚炎の原因あるいはメカニズムは何か

久保 利江子 (産業医科大学皮膚科学)

一般演題 1 粘着テープ剥離角層サンプルにおけるコルネオデスモゾーム構成分子の  
発現の比較によるアトピー性皮膚炎と関連疾患の鑑別

井川 哲子、村上 正基、岸部 麻里、本間 大、山本 明美  
(旭川医科大学)

一般演題 2 ステロイド抵抗性皮膚炎に対する新規免疫抑制剤 FTY720 (フィンゴリモ  
ド) の治療効果 : NC/Nga マウスを用いた検討

辻 琢己<sup>1)</sup>、吉田 侑矢<sup>1)</sup>、藤多 哲朗<sup>2)</sup>、河野 武幸<sup>1)</sup>

(<sup>1)</sup> 摂南大学薬学部, (<sup>2)</sup> 生産開発科学研究所)

16 : 40～17 : 40

座長 : 青木 敏之、向井 秀樹

指定演題 1 1 アレルギーはバリア異常を助長させるか

片桐 一元 (獨協医科大学越谷病院皮膚科)

指定演題 1 2 汗アレルギーとアトピー性皮膚炎の関係はどうなっているのか

尾藤 利憲 (神戸大学医学部附属病院皮膚科)

指定演題 1 3 アトピー性皮膚炎における発汗異常の実態 : バリア機能への影響を  
考える

室田 浩之 (大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学)

(敬称略)